

タイヤショベル横転、下敷き、死亡

建設会社の敷地内

会社の敷地内で、伐採した枝葉の片づけ作業をしていた

2018/7/22(日) 12:01

21日午後4時半ごろ、宮城県の建設会社の敷地内で、伐採した枝葉の片づけ作業をしていた男性（69）が、重機の下敷きになり、死亡しました。警察が事故の詳しい状況を調べています。警察によりますと男性は、タイヤショベルに乗って伐採した木や枝をゴミ置き場に移動させる作業をしていて、ハンドル操作を誤るなどして横転した可能性があるということです。警察が現場の安全管理に問題がなかったか詳しい状況を調べています。

幌延の牧場 タイヤショベルと給餌機に頭を挟まれ男性死亡

2018/07/21 22:21

21日正午ごろ、宗谷管内幌延町下沼の牧場で、タイヤショベルが男性と接触したと同牧場から119番があった。男性は頭をタイヤショベルと給餌機の間に挟まれており、間もなく死亡が確認された。天塩署はタイヤショベルを運転していた同住所の酪農業の男性容疑者（30）を業務上過失致傷の疑いで現行犯逮捕した。同署は、死亡したのは農機具修理のために牧場を訪れた男性とみて身元の確認を急ぐとともに事故原因を調べている。

大型クレーンの先端、男性作業員に衝突

建設会社の敷地内で翌日の準備中 頭の骨を折り死亡

ワイヤーのフックが外れ、衝突

◇『ワイヤー』、『フック』、『レバースロック』の点検を確実に行いましょう◇

2018/7/21(土) 1:04

18日午前11時ごろ、埼玉県、重機建設会社の敷地内で、大型クレーンのアーム格納作業をしていた、同社員の男性（59）に、アームの先端に取り付けた杭抜機が衝突した。男性は頭の骨を折るなどして死亡した。警察によると、岩渕さんは大型クレーンのオペレーターと2人で、クレーン先端部分に杭抜機（長さ約10メートル）を取り付ける作業を行っていたが、杭抜機とクレーンを繋いでいたワイヤーのフックが外れ、杭抜機が衝突した。男性は翌日の現場で使用するため、杭抜機の取り付け作業をしていたという。

「考え事をしていた」

縁石乗り越え、後ろから来た乗用車にはねられ、歩道の男性死亡

◇車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう◇

2018/7/21(土) 23:07

20日午後6時ごろ、埼玉県の国道で、歩道を歩いていた近くの自営業の男性（64）が後ろから来た乗用車にはねられ、死亡した。警察は自動車運転処罰法違反（過失傷害）容疑で、車を運転していたパートの女性（47）を現行犯逮捕。同署によると、現場は右カーブの手前。女性は道路左側の縁石を乗り越え、歩道を歩いていた男性をはねた。女性は「考え事をしていた」などと供述しているという。同署で詳しい事故原因を調べている。